



クローバーだより

2018年12月7日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
北野 明子

コミュニケーション能力とは？

子どもたちは物心ついた頃から友だちを作ったり、仲間意識を持ったり、大人から教わったり…子どもの毎日はコミュニケーション能力が重要となる場面ばかりです。では、コミュニケーション能力とはどんなことでしょうか？「対人的なやり取りにおいて、お互いの意思疎通をスムーズにするための能力」。つまり、「上手に人間関係を育む能力」のことです。この能力は、言葉を発しない赤ちゃんの時から培われています。お腹がすいて泣いたらミルクを飲ませてくれたり、目を合わせて優しく抱っこしてくれるなど不安な気持ちを解消し安心を与えてくれる人、自分を理解し守ってくれる人に信頼を抱きます。その時に形成されるものが「**愛着関係**」です。特別な行動が必要なわけではなく、日々のコミュニケーションの中で自然と愛着関係はできていきます。

1歳半頃からは簡単な言葉のやりとりができるようになり、単語を話すことを楽しんでいます。この頃は、たくさんの言葉を聞いて頭の中に蓄えています。4歳半以降から「この言葉はこういう意味なんだ」と考える事ができるようになります。言葉の構造や意味について言葉で考える力を「**メタ言語能力**」といいます。この能力は発達し、少しずつ聞く力、読む力、表現する力が備わっていきます。この能力が育つには、まず何よりも**家族内のコミュニケーションが大切**とされています。

コミュニケーション能力を育むために

①**子どもの話をじっくり聞くこと**。②**多くの人と触れ合う機会**を持たせてあげること。③**子どもの気持ちに共感**すること。です。人とうまくやっていくための協調性、他人の気持ちがわかる共感性は、自分の気持ちを受け止めてもらう経験から生まれます。相手を尊重する気持ちを育むためには、まず親が子どもの気持ちに共感してあげることが大切なのです。

うまく話すことができない子どもとでも、言葉だけではなく行動や態度でコミュニケーションをとることで、愛着関係を築き、「自分は大切なんだ」「愛されているんだ」という「自己肯定感」がうまれます。そして、自分だけではなく、他人を肯定する事もできるようになっていきます。難しく考えすぎず、今は目の前の子どもを愛しているという感情を言葉と態度でしっかりと示していきましょう。

《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、
こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしやいませんか？
保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、
ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373 お電話お待ちしております



絵本紹介

好きなリズムで歌って遊ぼう！ 翼&翔の

あそびのおうさま



Profile
すずき・つばさ ふくだ・しょう
鈴木翼 & 福田翔

左/あそび歌作家、『おとうさんといっしょ』(NHK BSプレミアム)への遊びと歌の提供や親子コンサートなどで大人気。2児のパパ。右/あそび歌作家、『おかあさんといっしょ』(NHK Eテレ)の月の歌「おはよう!」を提供。児童館、支援センターで親子とあそぶコンサートを行う。1児のパパ。



♪ひじ? そこはちがいます

「ひじ?」と言ってから、違う部位をさわり、「そこはちがいます」。



♪あし? そこはちがいます

♪くち? そこはちがいます

同様に、言った部位とは違う部位に触れていく。

そこはちがいます

作:鈴木翼&福田翔

言った部位をさわると見せかけて、実際には違う部位に触れます。「次はどこ?」と子どもはドキドキ!

POINT

笑い合って、抱きしめて、「大好き!」と伝えていくうちに、心はやさしい気持ちで満たされていますよ。



♪こし? そこはちがいます

「こし?」と言ってから、違う部位をさわり、「そこはちがいます」。



♪まちがえたけど だいすきぎゅー

子どもを包みこむように抱きしめる。

3歳児~

じゅっぴきでござる

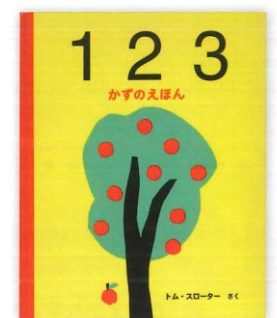


作/エクトル・シエラ
絵/高島純
佼成出版社
本体1,300円+税
25×22cm
32ページ

さるが「おはなしを きいてくださる?」と聞くことからこのお話は始まる。これで、子どもたちはぐっとお話に引き込まれる。次のページをめくって「さるが じゅっぴき あそんで いたでござる」と読んだら赤ちゃんが「ちよつとまって!」と言って「いーち、にー、さん……」と数え始め、ちゃんと10匹いることを確認。「いっぴき ざるそばを たべすぎ、きゅうひきで ござる」と読むと今度はいっちゃんか「なん?」と聞く。言葉あそびにもなっていておもしろい。子どもたちはユーモラスに描かれたさるに思わず笑ってしまいがち、ちゃんとさるの数はかぞえる。一匹もいなくなってしまう次のページに100匹のさるが描かれていたら「えっ、かぞえるの?」とびっくりするいっちゃん。誰も数えてほしいとは言っていないのだけれどね!

3歳児~

123 かずのえほん



作/トム・スローター
西村書店
本体1,000円+税
22.7×18.2cm
24ページ

この絵本には絵と数字しか描かれていない。1のページにはりんごが1つ、2のページには眼鏡が2つ。でも、よく絵を見ているとそれだけではないことに気づく。ポタンが4つだったらポタンの穴も4つ。花が5つだったら、花びらも5枚。9のページにはアパートのような家が描かれているのだけれど、窓がどの家も9つ。なので、指をさして10まで数えることができるようになった子は自分で数えるのがおもしろい。ひろくんは、10のページで1個りんごが足りない木があって、ずっと気にしていた。裏表紙には「はじめてのかずのえほん」「はじめてのアートのえほん」と書かれているが、おしゃれな絵なので0歳児から5歳児まで楽しめる。